

回復期リハビリテーション病棟 ご案内



医療法人社団哺育会

浅草病院



(財)日本医療機能評価機構認定病院

住み慣れた町で自分らしく暮らしていただくために

回復期リハビリテーション病棟とは

脳血管疾患や胸腹部の手術、自宅退院（在宅復帰）

術などの病気または骨折などのケガで急性期治療を終えた患者様に対しや職場復帰のために集中的なリハビリテーションを実施する病棟です。



リハビリテーション室



病室廊下



リハビリ室



リハビリ科スタッフ紹介



理学療法士 (PT) 38名
作業療法士 (OT) 19名
言語聴覚士 (ST) 6名



あしたを
ささえる
くらしを
ささえる

回復期リハビリテーション病棟の特徴

チームアプローチによる退院支援

スムーズにご自宅へ退院できるよう、医師、病棟スタッフ、リハビリ、栄養士、薬剤師、相談員など多職種で定期的に情報共有・意見交換を行っています。



365日 毎日リハビリ

土・日・祝日も平日と同じように1日2～3時間のリハビリを行っています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が担当制でマンツーマンで指導します。

日常生活の動作もリハビリです

食事・トイレ・着替え・入浴など日常生活の動作もリハビリスタッフに関わり、動作の練習や介助方法の提案をします。

専門医の常勤体制

脳神経外科、呼吸器、循環器の専門医が在籍しており、内科的サポートも行ないながらリハビリができます。

退院後の生活を見据えたアプローチ

早期に家屋調査を実施し、退院後に必要な生活動作を評価して入院生活に反映させます。また、退院後安心して生活して頂けるよう、福祉用具等の提案や試験外泊も行なっています。

急性期病棟・外来・訪問部門との連携

当院は急性期病棟を有しており、急変時の対応も可能です。また、外来・訪問リハビリも実施しているため、退院後のリハビリもスムーズに継続することができます。

患者様が安心して退院できるよう

退院までサポートします

入院時



医師の診察と医療相談員の面談や身体状況の評価を行います。必要に応じて、家屋調査も実施します。



家屋調査

在宅復帰支援 カンファレンス



週に1回、看護師・介護士・社会福祉士・薬剤師・医療相談員・リハビリスタッフが集まって現在の状況を確認し、今後の方針と目標を共有します。

リハビリ

マンツーマンのリハビリ以外でも朝夕の着替えやトイレ・食事動作などの実際の日常生活にスタッフが関わっています。必要に応じて屋外での活動（歩行、買い物、公共機関の利用等）や調理訓練も行なっています。



トイレ練習

中間カンファレンス



家族指導

退院前 カンファレンス

患者さまの状態や今後必要な支援についてご家族さまを含めて話し合いをし、目標の確認をしていきます。



さまざまな職種のスタッフが
集まり話し合うカンファレンス

屋外活動・外泊・ 家族指導



買い物練習

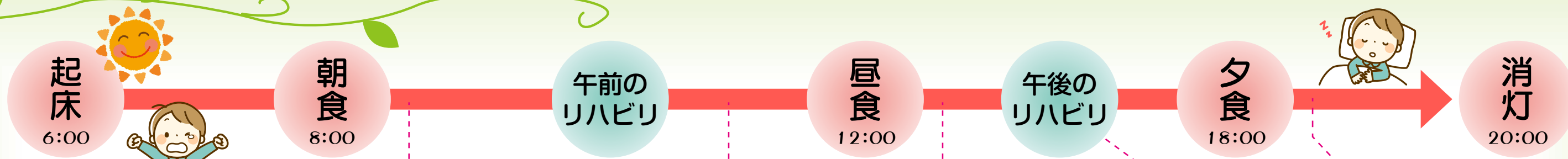
退院



退院後も当院の訪問リハでサポートすることもできます。（介護保険にて）

退院前に実際にご自宅で動作の確認をしたり、手すりや歩行器などの福祉用具の必要性を検討します。また、家族指導や試験外泊を行ない、安心して退院できる準備をしていきます。

一日の流れ



モーニングケア

モーニングケア (8:40 ~)

朝食後、歯磨きなどの整容や朝の着替え、トイレなどの日常生活動作を実際の場面で練習します。



食事リハビリ

食事のリハビリ (11:40 ~)

昼食前の20分間、個別リハビリとは別に集団での体操や頭の体操を行なっています。また、昼食時も食事動作の評価を行ない、必要に応じて自助具の提案もします。



補助具を使った食事

入浴評価 (適宜)

自宅でも安全に入浴できるように、浴槽への出入りの仕方などを練習します。また、練習内容を病棟スタッフと共有し、介助の方法も統一しています。



入浴評価



ナイトケア

ナイトケア (17:30 ~)

夕食～就寝前にかけて食後の歯磨きや寝衣への着替えをリハビリスタッフと行ないます。

毎日の生活が リハビリです



理学療法士 (PT) とは

起き上がる、座る、立つ、歩くなどの基本動作に対してのリハビリです。いろいろな補助具を利用して、動作の再獲得を目指します。



作業療法士 (OT) とは

食事や着替え、排泄、入浴といった日常生活の動作のリハビリです。ご自宅で生活するために必要な動作を実際に練習していきます。



言語聴覚士 (ST) とは

コミュニケーションと飲み込みに対してのリハビリです。他者とコミュニケーションが取れるように話す練習をしたり、誤嚥性肺炎の予防を行なっていきます。

患者様に合わせた リハビリを行います

■屋外活動

退院に向けて、病院の外を歩く練習をしたり、実際にご本人とスタッフが自宅に行って動作の確認や手すりの設置などの提案を行ないます。また、必要に応じて買い物や公共機関の利用の練習も行なっています。



■家屋調査

入院早期にご自宅へ訪問してご自宅の環境を確認させていただきます。その後、その情報を多職種で共有し、入院中の過ごし方やリハビリプログラムへ反映させ、退院後の環境調整も検討していきます。



■調理訓練

病前に作っていた料理や飲み物をリハビリ室のキッチンで作っていただきます。計画する、食材を買う、準備する、作る、といった工程を患者様と一緒に確認しながら実施します。



■家族指導

ご自宅で介護・介助されるご家族の不安解消のために、入院中に介助方法の指導を行ないます。看護師からは服薬指導、管理栄養士からは栄養指導なども行ないます。



入院までの流れと相談窓口

申し込み

急性期病院の相談室から、当院の医療連携相談課に患者様の情報を送っていただきます。

結果連絡

空床状況や身体状況により、転院日時を決定致します。

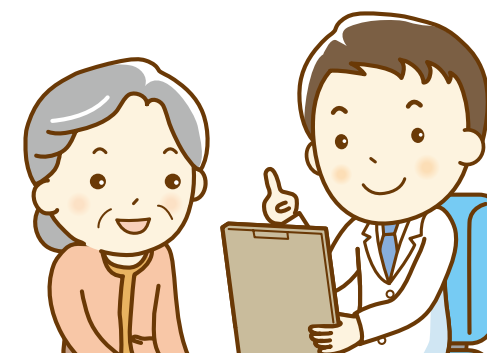
入院

転院時の移動方法については、急性期病院の指示に従いご来院ください。

当院入院のご相談は、 医療相談室へお電話ください

入院中は、すべての患者様に担当相談員がつきます。傷病によって生じる心理的・社会的・経済的なさまざまな問題の相談に応じます。

退院後も、不安や心配事のない生活が送れるよう適切な社会資源を提案、調整し退院支援していきます。



医療相談課

TEL 03-3876-1711 (代)
FAX 03-5824-1885

病棟 設備



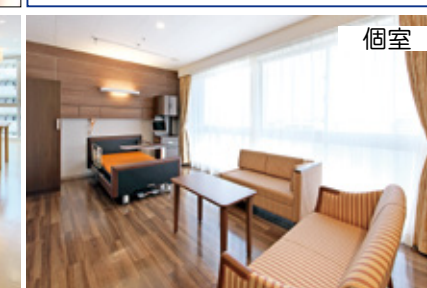
ST室



スタッフステーション



ダイニング



個室



ADLキッチン



ランドリー



リハ室トイレ



4人部屋



浴室

交通のご案内

路線図



送迎バス運行中

無料シャトルバス（送迎）を運行しております。

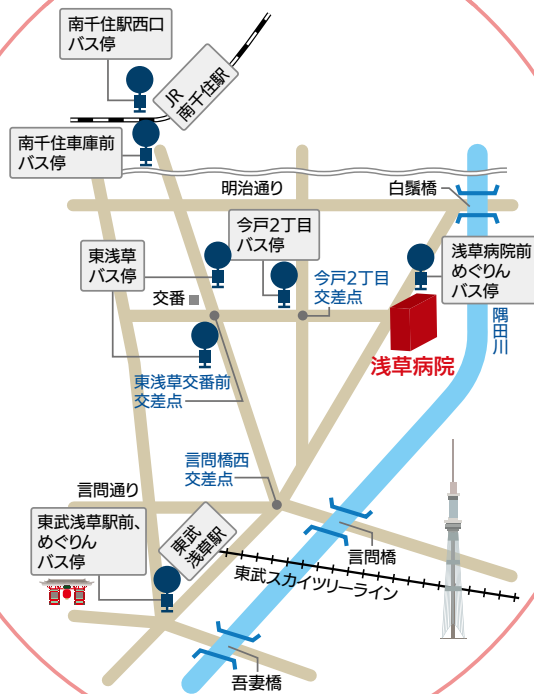
浅草病院⇄浅草駅、浅草病院⇄南千住駅を約 20 分間隔で運行していますので是非ご利用ください。

詳細につきましては、QR コードまたは受付にご用意しておりますので、お声掛けください。

※浅草病院到着口は正面玄関前になります
浅草病院 出発口は地下 1 階 駐車場になります



時刻表 QR



医療法人社団哺育会 浅草病院

〒111-0024 東京都台東区今戸 2-26-15

TEL.03-3876-1711 (代) FAX.03-3871-3626

<https://www.asakusa-hp.jp/>



回復期リハビリ



病院ホームページ